

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-500669(P2000-500669A)

【公表日】平成12年1月25日(2000.1.25)

【出願番号】特願平9-518298

【国際特許分類第7版】

A 6 1 F 2/04

A 6 1 M 29/00

【F I】

A 6 1 F 2/04

A 6 1 M 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月30日(2003.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年10月30日



特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第518298号

2. 特許出願人

住 所

バルバドス, セント ミカエル, ビショップ
ス コート ヒル, ピー オー ボックス 1
11 フィナンシャル サービス センター

名 称

ボストン サイエнтиフィック リミテッド

3. 代 理 人

住 所

東京都新宿区四谷1丁目2番1号
三浜ビル8階

郵便番号 160-0004 電話 3226-6671

氏 名

(9094) 弁理士 藤野 清也



4. 補正対象書類名 明細書

5. 補正対象項目名 特許請求の範囲

6. 補正の内容

変更

別紙の通り

特許請求の範囲

1. 第1の終端部を備える上方領域と、尿管内に位置決めするように構成されたほぼ直線状の下方領域とを含んでいる第1部分と、

1つまたは複数のこのような尾部部材がテーパされている複数の中実の細長い可撓性の尾部部材を含んでおり、第1部分の下方領域から連続的かつ一体に延びている第2部分と

を含んでいる、細長い部材を備える医療用デバイス。

2. 前記細長い可撓性の尾部部材が、尾部部材の表面上に少なくとも1つの長手方向通路を含んでいる請求項1に記載の医療デバイス。

3. 長手方向通路が、各尾部部材の長さに沿って連続的であり、かつ遮られていない請求項2に記載の医療デバイス。

4. 第1の部分の上方領域が外直径を有し、前記尾部部材のそれぞれが外直径を有し、各尾部部材の外直径が第1の部分の上方領域の外直径よりも小さい、請求項1に記載の医療デバイス。

5. 尾部部材が少なくとも1本の糸フィラメントを含んでいる請求項1に記載の医療デバイス。

6. 尾部部材が複数の糸フィラメントを含んでいる請求項5に記載の医療デバイス。

7. 尾部部材が少なくとも2本のループ・フィラメントを含んでいる請求項1に記載の医療デバイス。

8. 尾部部材が縦溝付きのフィラメントを含んでいる請求項1に記載の医療デバイス。

9. 尾部部材が少なくとも1本のループ・フィラメントを含んでいる、請求項1に記載の医療デバイス。

10. 尾部部材がループしていないフィラメントを含んでおらず、したがって尾部部材が緩い端部から自由である、請求項9に記載の医療デバイス。

11. 下方領域が尿管の半分以上に延びるように構成されている請求項1に記載の医療デバイス。

12. 下方領域が尿管が共通の腸骨管 (iliac vessel) と交差する点の上方まで延びている請求項1に記載の医療デバイス。

13. ほぼ直線状の下方領域が約12cmの長さである請求項1に記載の医療デバイス。

14. 複数の尾部部材のうちの少なくとも2つが融着されている請求項1に記載の医療デバイス。

15. i 少なくとも1つの第1の開口を含んでいる上方領域から、外部表面を有しかつ少なくとも1つの第2の開口を含んでいる下方領域へ延び、前記下方部分が尿管ステント使用時に尿管内に位置決めされるに十分な長さを有し、それを通して延びて第1の開口を第2の開口と接続する管腔を画定している、細長い管状セグメントと、

i i 尿管ステント使用時にほぼ腎臓内に位置決めされるように管状セグメントの上方領域から遠位に延びている縮れた端部領域と、

i i i 薄い可撓性の尾部がほぼ直線状であり、管状セグメントの下方領域から尿を受けるように、および輸尿表面に沿って尿を運ぶように管状セグメントの下方領域から移行するにつれて小さい外直径へテーパしており、管状セグメントの下方領域の外部表面から、連続している薄い可撓性の尾部の輸尿表面への移行部を含んでいる、外部輸尿表面を有する薄い可撓性の細長い尾部、

を含んでいる、尿の流れを補助する尿管ステント。

16. 尿管ステント使用時に、外部輸尿表面が、尿管の少なくとも一部に沿って、尿管／膀胱分岐部を横切り、かつここから尿管開口を通して膀胱内へ延びている請求項15に記載のステント。

17. 薄い可撓性の尾部が中空である請求項15に記載のステント。

18. 尾部の少なくとも一部が中空である請求項15に記載のステント。

19. 管状セグメントがその長さに沿って複数の開口を含んでいる請求項15に記載のステント。

20. 尾部の外部輸尿表面が連続的であり、かつ遮られていない請求項15に記載のステント。

21. i 少なくとも1つの第1の開口を含んでいる上方領域から、外部表面を有し、かつ少なくとも1つの第2の開口を含んでいる下方領域へ延び、前記下方部分が尿管内に位置決めされるとき尿管の半分以上に延びて、それを通して延びる第1の開口を第2の開口と接続する管腔を画定するように構成されている細長い管状セグメントと、

i i 尿管ステント使用時にほぼ腎臓内に位置決めされるように管状セグメントの上方領域から遠位に延びている縮れた端部領域と、

i i i 薄い可撓性の尾部がほぼ直線状であり、管状セグメントの下方領域から尿を受けるように、および輸尿表面に沿って尿を運ぶように管状セグメントの下方領域から移行するにつれて小さい外直径へテーパしており、管状セグメントの下方領域の外部表面から、連続している薄い可撓性の尾部の輸尿表面への移行部を含んでいる、外部輸尿表面を有する薄い可撓性の細長い尾部、

を含んでいる、尿の流れを補助する尿管ステント。

22. 尿管ステント使用時に、外部輸尿表面が、尿管の少なくとも一部に沿って、尿管／膀胱分岐部を横切り、かつここから尿管開口を通して膀胱内へ延びている請求項21に記載のステント。

23. 薄い可撓性の尾部が中空である請求項21に記載のステント。

24. 尾部の少なくとも一部が中空である請求項21に記載のステント。

25. 尾部の外部輸尿表面が連続的であり、かつ遮られていない請求項21に記載のステント。